

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-46789

(P2002-46789A)

(43)公開日 平成14年2月12日(2002.2.12)

(51)Int.Cl.⁷

B 6 5 D 85/57

識別記号

F I

B 6 5 D 85/57

データベース(参考)

C 3 E 0 3 6

審査請求 未請求 請求項の数8 O L (全 9 頁)

(21)出願番号 特願2000-238277(P2000-238277)

(22)出願日 平成12年8月7日(2000.8.7)

(71)出願人 391013047

株式会社ハゴロモ

東京都千代田区神田須田町2-6-5 O

S' 85ビル

(72)発明者 橋 倍男

東京都千代田区神田須田町2-6-5 株

式会社ハゴロモ内

(74)代理人 100063174

弁理士 佐々木 功 (外1名)

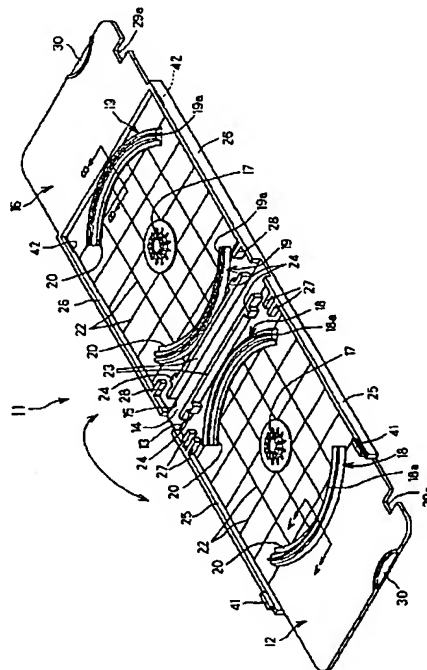
Fターム(参考) 3E036 AA08 CA10 FA01 FB01

(54)【発明の名称】 収納ケース

(57)【要約】

【課題】 DVDやCDなどを収納し、且つ防犯タグを保持した状態で施蓋状態をロックしておくことができる収納ケースを提供する。

【解決手段】 第1側蓋12と、該第1側蓋12の一端にヒンジ部13を介して折曲自在に設けられた天板14と、該天板14の一端にヒンジ部15を介して折曲自在に設けられ且つ前記第1側蓋12に臨んで施蓋する第2側蓋16と、前記第1及び第2側蓋12、16に設けると共に円盤状情報記録媒体の孔部を係止する係止部17と、施蓋状態の両側蓋に装着するホルダー31とを備え、前記第1側蓋12と第2側蓋16とのそれぞれ対応する位置には、施蓋時に係合凹部29を形成するための凹状切欠部29a、29aをそれぞれ形成し、前記ホルダー31には、前記係合凹部29に係合して施蓋状態をロックするロック機構34を設けた収納ケース11である。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 所要大きさの第1側蓋と、該第1側蓋の一端にヒンジ部を介して折曲自在に設けられた天板と、該天板の一端にヒンジ部を介して折曲自在に設けられ且つ前記第1側蓋に臨んで施蓋する第2側蓋とを少なくとも備え、前記第1側蓋及び第2側蓋には、円盤状情報記録媒体の孔部を係止する係止部を設けた収納ケースであって、前記第1側蓋及び第2側蓋には、収納する円盤状情報記録媒体の外周縁に沿う位置に円弧状の凸条部がそれぞれ形成されていることを特徴とする収納ケース。

【請求項2】 凸条部の内側には、収納される円盤状情報記録媒体と前記側蓋との間に隙間を開けるための段部が設けられていることを特徴とする請求項1に記載の収納ケース。

【請求項3】 凸条部は、前記第1側蓋及び第2側蓋のそれぞれ対応する位置に形成され、且つ一方の凸条部の頂部には、嵌合凸部を形成し、他方の凸条部の頂部には、嵌合凹溝を形成し、前記嵌合凸部と嵌合凹溝とが嵌合自在であることを特徴とする請求項1に記載の収納ケース。

【請求項4】 所要大きさの第1側蓋と、該第1側蓋の一端にヒンジ部を介して折曲自在に設けられた天板と、該天板の一端にヒンジ部を介して折曲自在に設けられ且つ前記第1側蓋に臨んで施蓋する第2側蓋とを少なくとも備え、前記第1側蓋及び／又は第2側蓋には、円盤状情報記録媒体の孔部を係止する係止部を設けた収納ケースであって、前記第1側蓋及び第2側蓋には、補強用の突条部を格子状又は傾斜状に形成したことを特徴とする収納ケース。

【請求項5】 所要大きさの第1側蓋と、該第1側蓋の一端にヒンジ部を介して折曲自在に設けられた天板と、該天板の一端にヒンジ部を介して折曲自在に設けられ且つ前記第1側蓋に臨んで施蓋する第2側蓋とを少なくとも備え、前記第1側蓋及び／又は第2側蓋には、円盤状情報記録媒体の孔部を係止する係止部を設けた収納ケースであって、前記第1側蓋又は第2側蓋には、歌詞カードやジャケット等を挟持して保持する挟持片を形成したことを特徴とする収納ケース。

【請求項6】 所要大きさの第1側蓋と、該第1側蓋の一端にヒンジ部を介して折曲自在に設けられた天板と、該天板の一端にヒンジ部を介して折曲自在に設けられ且つ前記第1側蓋に臨んで施蓋する第2側蓋とを少なくとも備え、前記第1側蓋及び／又は第2側蓋には、円盤状情報記録媒体の孔部を係止する係止部を設けた収納ケースであって、前記第1側蓋と第2側蓋とのそれぞれ対応する位置には、相互に係合し合う係合片と係合溝部とを形成したことを特徴とする収納ケース。

【請求項7】 所要大きさの第1側蓋と、該第1側蓋の一端にヒンジ部を介して折曲自在に設けられた天板と、該天板の一端にヒンジ部を介して折曲自在に設けられ且

つ前記第1側蓋に臨んで施蓋する第2側蓋とを少なくとも備え、前記第1側蓋及び／又は第2側蓋には、円盤状情報記録媒体の孔部を係止する係止部を設けた収納ケースであって、前記第1側蓋と第2側蓋とのそれぞれ対応する位置には、施蓋時に係合凹部を形成するための凹状切欠部をそれぞれ形成したことを特徴とする収納ケース。

【請求項8】 所要大きさの第1側蓋と、該第1側蓋の一端にヒンジ部を介して折曲自在に設けられた天板と、該天板の一端にヒンジ部を介して折曲自在に設けられ且つ前記第1側蓋に臨んで施蓋する第2側蓋と、前記第1側蓋及び／又は第2側蓋に設けると共に円盤状情報記録媒体の孔部を係止する係止部と、施蓋状態の両側蓋に装着するホルダーとを少なくとも備え、前記第1側蓋と第2側蓋とのそれぞれ対応する位置には、施蓋時に係合凹部を形成するための凹状切欠部をそれぞれ形成し、前記ホルダーには、前記係合凹部に係合して施蓋状態をロックするロック機構を設けたことを特徴とする収納ケース。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、主にDVD（デジタル・ビデオ・ディスク）やCD（コンパクト・ディスク）などの情報記録媒体を納める収納ケースに関するものであり、更に詳しくは、防犯タグを保持した状態でロック（施錠）しておくことができる収納ケースに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、CD類のレンタルショップなどにおいては、CDなどの商品を店内から不正に持ち出されないように（即ち、万引き防止のために）、CDなどのケースに防犯タグを直接取り付け付けていた。この防犯タグは、店の出入り口に予め設置しておいた防犯センサーを磁氣的或いは電氣的に反応させるためのものであり、防犯タグが付いている商品が店の出入り口を通過したときには、防犯センサーが警戒音を発する仕組みになっているのである。

【0003】しかしながら、CDなどのケースに防犯タグを直接取り付け付けておくと、それが故意に引き剥がされたり取り外されたりすることがあった。そこで、防犯タグを内部に保持した容器にCDケースを収納してから、容器とCDケースとをロック（施錠）しておき、ユーザー（お客）がレンタルするときにカウンターでロックを解錠してCDケースを渡していた。

【0004】ところが、上述の防犯タグを保持した容器は、CDケースをロックするためにシリンダー錠やタンブラー錠を使用しているので、ユーザー（お客）の面前で鍵を使っていちいち解錠操作をする必要があり、その操作は煩雑で能率が悪く、大量の商品を迅速に解錠するには不便であった。

10

20

30

40

50

【0005】そこで、出願人は上記の欠点を解消すべく、特開平9-328184号公報に開示されたCDケースの収納容器を提案している。このCDケースの収納容器1は、図9に示すように、CDケース2が出し入れ可能な開口部3を背面側に有した収納容器本体4と、この収納容器本体4の上端部に設けられ且つCDケース2の取り出しを制限する押し釦式のロック機構5とから構成されている。また、開口部3の四隅には、収納されたCDケース2の各四隅に当接してCDケース2を保持する係止突起6a、6a、6b、6bが各々設けられている。

【0006】そして、CDケース2を取り出すときには、所定の解錠装置でロック機構5を解錠してロック部材7を後退させ、CDケース2の上端と収納容器本体4との間に隙間（CDケース2の上下移動自在な間隔）を開けてから、CDケース2を上を押上げて、開口部3からCDケース2の下端を抜き出して、次いで上端を抜き出している。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】この従来例のCDケースの収納容器1においては、CDを市販されている所定規格のCDケース2に納めていなければ、収納容器1に収納できないという欠点がある。つまり、CDを他の形状のCDケースや独自に考案したCDケースに移し替えた場合には使用できないのである。

【0008】従って、従来例におけるCDケースの収納容器1においては、CDを他の形状のCDケースに移し替えて使用できるようにすることに解決しなければならない課題を有している。

【0009】

【課題を解決するための手段】前記従来例の課題を解決する具体的手段として本発明は、所要大きさの第1側蓋と、該第1側蓋の一端にヒンジ部を介して折曲自在に設けられた天板と、該天板の一端にヒンジ部を介して折曲自在に設けられ且つ前記第1側蓋に臨んで施蓋する第2側蓋とを少なくとも備え、前記第1側蓋及び第2側蓋には、円盤状情報記録媒体の孔部を係止する係止部を設けた収納ケースであって、前記第1側蓋及び第2側蓋には、収納する円盤状情報記録媒体の外周縁に沿う位置に円弧状の凸条部がそれぞれ形成されていることを特徴とする収納ケースを提供するものである。

【0010】そして、前記凸条部の内側には、収納される円盤状情報記録媒体と前記側蓋との間に隙間を開けるための段部が設けられている構成としたものであり、更に、前記凸条部は、前記第1側蓋及び第2側蓋のそれぞれ対応する位置に形成され、且つ一方の凸条部の頂部には、嵌合凸部を形成し、他方の凸条部の頂部には、嵌合凹溝を形成し、前記嵌合凸部と嵌合凹溝とが嵌合自在である構成としたものである。

【0011】また、本発明は、所要大きさの第1側蓋

と、該第1側蓋の一端にヒンジ部を介して折曲自在に設けられた天板と、該天板の一端にヒンジ部を介して折曲自在に設けられ且つ前記第1側蓋に臨んで施蓋する第2側蓋とを少なくとも備え、前記第1側蓋及び／又は第2側蓋には、円盤状情報記録媒体の孔部を係止する係止部を設けた収納ケースであって、前記第1側蓋及び第2側蓋には、補強用の突条部を格子状又は傾斜状に形成したことを特徴とする収納ケースを提供するものである。

【0012】そして、本発明は、所要大きさの第1側蓋と、該第1側蓋の一端にヒンジ部を介して折曲自在に設けられた天板と、該天板の一端にヒンジ部を介して折曲自在に設けられ且つ前記第1側蓋に臨んで施蓋する第2側蓋とを少なくとも備え、前記第1側蓋及び／又は第2側蓋には、円盤状情報記録媒体の孔部を係止する係止部を設けた収納ケースであって、前記第1側蓋又は第2側蓋には、歌詞カードやジャケット等を挟持して保持する挟持片を形成したことを特徴とする収納ケースを提供するものである。

【0013】更に、本発明は、所要大きさの第1側蓋と、該第1側蓋の一端にヒンジ部を介して折曲自在に設けられた天板と、該天板の一端にヒンジ部を介して折曲自在に設けられ且つ前記第1側蓋に臨んで施蓋する第2側蓋とを少なくとも備え、前記第1側蓋及び／又は第2側蓋には、円盤状情報記録媒体の孔部を係止する係止部を設けた収納ケースであって、前記第1側蓋と第2側蓋とのそれぞれ対応する位置には、相互に係合し合う係合片と係合溝部とを形成したことを特徴とする収納ケースを提供するものである。

【0014】また、本発明は、所要大きさの第1側蓋と、該第1側蓋の一端にヒンジ部を介して折曲自在に設けられた天板と、該天板の一端にヒンジ部を介して折曲自在に設けられ且つ前記第1側蓋に臨んで施蓋する第2側蓋とを少なくとも備え、前記第1側蓋及び／又は第2側蓋には、円盤状情報記録媒体の孔部を係止する係止部を設けた収納ケースであって、前記第1側蓋と第2側蓋とのそれぞれ対応する位置には、施蓋時に係合凹部を形成するための凹状切欠部をそれぞれ形成したことを特徴とする収納ケースを提供するものである。

【0015】そして、本発明は、所要大きさの第1側蓋と、該第1側蓋の一端にヒンジ部を介して折曲自在に設けられた天板と、該天板の一端にヒンジ部を介して折曲自在に設けられ且つ前記第1側蓋に臨んで施蓋する第2側蓋と、前記第1側蓋及び／又は第2側蓋に設けると共に円盤状情報記録媒体の孔部を係止する係止部と、施蓋状態の両側蓋に装着するホルダーとを少なくとも備え、前記第1側蓋と第2側蓋とのそれぞれ対応する位置には、施蓋時に係合凹部を形成するための凹状切欠部をそれぞれ形成し、前記ホルダーには、前記係合凹部に係合して施蓋状態をロックするロック機構を設けたことを特徴とする収納ケースを提供するものである。

【0016】本発明に係る収納ケースにおいては、DVD等を側蓋に係止してから施蓋して、ホルダーを装着することができる。つまり、従来規格の市販ケースを用いることなく、DVD等を収納した収納ケースに、防犯タグを取り付けたホルダーを装着できるのである。

【0017】

【発明の実施の形態】次に、本発明の実施の形態について図面を参照しながら説明する。まず、図1において、符号11は収納ケースを示し、この収納ケース11は、第1側蓋12と、この第1側蓋12の一端にヒンジ部13を介して折曲自在に設けられた天板14と、この天板14の一端にヒンジ部15を介して折曲自在に設けられ且つ前記第1側蓋12と臨んで施蓋する第2側蓋16とから構成される。

【0018】また、収納ケース11は、プラスチックなどの合成樹脂材で一体に形成されており、適度な剛性と弾性とを有していると共に、内部に収納したDVDやCDなどの情報記録媒体を外側から視認することができるように透明又は半透明な材料で形成されている。また、収納ケース11の大きさは、所定規格形状のDVD等を

【0019】第1側蓋12及び第2側蓋16のほぼ中央位置には、DVD等の中心に設けられている孔部（図示せず）に係止する係止部17が形成されている。この係止部17は、多数の弾性片が内側に突出しており、この弾性片に前記孔部の内周縁に係止させるのである。

【0020】また、第1側蓋12及び第2側蓋16には、収納するDVD等の外周縁に沿う位置に円弧状の凸条部18、18、19、19がそれぞれ形成されている。この凸条部18、19は、DVD等を係止部17に係止させるときに案内部材の役目を果たすので、DVD等を所定位置に容易に納めることができる。

【0021】また、凸条部18、19の内側には、図2及び図3に示すように、それぞれ段部20、20が形成されている。この段部20は、収納されるDVD21等と第1及び第2側蓋12、16の表面との間に隙間を開けるために設けられており、この隙間に指を差し入れれば、収納されているDVD21等を簡単に取り出すことができる。尚、段部20の幅は、DVD21等の縁部における情報が未記録の部位とほぼ同じ幅であるので、DVD21等の情報記録部分に傷を付けることはない。

【0022】更に、凸条部18、19は、第1側蓋12と第2側蓋16とのそれぞれ対応する位置に形成されると共に、一方の凸条部18の頂部には、図2に示すように、嵌合凸部18aが形成されており、他方の凸条部19の頂部には、図3に示すように、嵌合凹溝19aが形成されている。そして、この嵌合凸部18aと嵌合凹溝19aとは、図4に示すように、第1側蓋12と第2側蓋16とを施蓋したときに嵌合するように形成されているので、施蓋時に第1及び第2側蓋12、16同士が

ズれることなく収納ケース11の強度が向上するのである。

【0023】また、第1側蓋12及び第2側蓋16の内側面には、補強用と装飾用とを兼ねた突条部22が格子状又は傾斜状に形成されている。この突条部22の存在によって、収納ケース11の強度が全体的に向上するのである。尚、突条部22は、第1及び第2側蓋12、16の外側面に形成してもよく、或いは、第1及び第2側蓋12、16の全面に又は一部にのみ形成してもよいことは勿論である。

【0024】そして、第1側蓋12及び第2側蓋16のそれぞれ天板14寄りの位置には、補助板23、23が設けられており、この補助板23、23には、歌詞カードやジャケット等を挟持して保持する挟持片24、24がそれぞれ形成されている。従って、この挟持片24、24に所望のカード等を挟持させておくことができる。

【0025】更に、第1側蓋12及び第2側蓋16の両側面には、それぞれ側板25、25、26、26が設けられており、一方の側板25、25には、コ字状の係合溝部27、27が形成されている。また、他方の側板26、26には、棒状の係合片28、28が形成されている。これら係合溝部27、27と係合片28、28とは、それぞれ対応する位置に形成されていると共に、施蓋時に相互に係合し合うように形成されている。つまり、両方の第1及び第2側蓋12、16を施蓋したときに係合片28と係合溝部27とが係合するので、第1及び第2側蓋側蓋12、16同士がズれることなく収納ケース11の強度が向上する。

【0026】また、側板25、25には、係合舌片41、41がそれぞれ設けられており、側板26、26には、前記係合舌片41、41と係合する受溝42、42がそれぞれ設けられており、この係合舌片41と受溝42とが係合して施蓋状態を維持する。

【0027】また、第1側蓋12と第2側蓋16との下端縁部におけるそれぞれ対応する位置には、円弧状の切欠段部30、30がそれぞれ形成されている。この切欠段部30、30は、施蓋時に重なり合ってその間に隙間を形成するのである。つまり収納ケース11を開くときには、その隙間に指を差し入れて押し広げればよい。

【0028】そして、第1側蓋12と第2側蓋16との縁部におけるそれぞれ対応する位置には、凹状切欠部29a、29aが形成されている。この凹状切欠部29a、29aは、図5に示すように、施蓋時に重なり合って係合凹部29を形成する。この係合凹部29は、後述するホルダー31を装着してロック機構34のロック部材39を突出させて係合させる部位である。

【0029】次に、ホルダー31について説明する。このホルダー31は、図5に示すように、収納ケース11の下端側から装着して施蓋状態をロックするものであり、基板32と、両方の側面板33、33と、一方の側

面板33に設けられたロック機構34と、底板35と、コ字状の縁板36と、前記基板32の内側面に取り付けられた防犯タグ37とを備えている。

【0030】ロック機構34は、図6から図8に示すように、板バネ38と、この板バネ38によって突出状態が保持され且つ一方の側面板33を貫通して設けられたロック部材39とから構成されている。

【0031】板バネ38は、U字状に折り曲げて形成されており、ロック部材39の両端を挟んでいる。また、ロック機構34本体の下面端には、U字溝40が形成されてお

り、このU字溝40に板バネ38が嵌合されている。更に、ロック部材39には、係合段部39a、39bが形成されており、押し込んだ際に板バネ38が両側の係合段部39aと係合して押し込んだ状態を保持する。また、鉤部39cは、ロック機構34の上端から突出可能に配設されており、操作者はこの部分を指で押すことにより操作する。

【0032】また、係合段部39aと係合した板バネ38は、図示しない所定の解錠装置を用いて、ロック機構34の外部から強力な磁石により板バネ38を両側に広げて、ロック部材39との係合を解除する。

【0033】このように、この収納ケース11は、防犯タグ37を取り付けたホルダー31を収納ケース11に装着して、係合凹部29にロック部材39を突出させれば、施蓋状態をロックすることができる。また、従来規格の市販ケースを用いることなく、DVD21等を収納した収納ケース11にホルダー31を装着できるのである。

【0034】

【発明の効果】以上説明したように本発明に係る収納ケースは、所要大きさの第1側蓋と、該第1側蓋の一端にヒンジ部を介して折曲自在に設けられた天板と、該天板の一端にヒンジ部を介して折曲自在に設けられ且つ前記第1側蓋に臨んで施蓋する第2側蓋とを少なくとも備え、前記第1側蓋及び第2側蓋には、円盤状情報記録媒体の孔部を係止する係止部を設けた収納ケースであって、前記第1側蓋及び第2側蓋には、収納する円盤状情報記録媒体の外周縁に沿う位置に円弧状の凸条部がそれぞれ形成されていることによって、DVD等を収納するときに前記凸条部が案内部材の役目を果たすので、所定の位置に容易に納めることができるという優れた効果を奏する。

【0035】そして、凸条部の内側には、収納される円盤状情報記録媒体と前記側蓋との間に隙間を開けるための段部が設けられていることによって、前記隙間に指を差し入れれば、収納されているDVD等を簡単に取り出すことができるという優れた効果を奏する。

【0036】更に、凸条部は、前記第1側蓋及び第2側蓋のそれぞれに対応する位置に形成され、且つ一方の凸条部の頂部には、嵌合凸部を形成し、他方の凸条部の頂部

には、嵌合凹溝を形成し、前記嵌合凸部と嵌合凹溝とが嵌合自在であることによって、両方の側蓋を施蓋したときに嵌合凸部と嵌合凹溝とがしっかりと嵌合するので、施蓋時の収納ケースの強度が向上するという優れた効果を奏する。

【0037】また、本発明に係る収納ケースは、所要大きさの第1側蓋と、該第1側蓋の一端にヒンジ部を介して折曲自在に設けられた天板と、該天板の一端にヒンジ部を介して折曲自在に設けられ且つ前記第1側蓋に臨んで施蓋する第2側蓋とを少なくとも備え、前記第1側蓋及び／又は第2側蓋には、円盤状情報記録媒体の孔部を係止する係止部を設けた収納ケースであって、前記第1側蓋及び第2側蓋には、補強用の突条部を格子状又は傾斜状に形成したことによって、収納ケースの強度が全体的に向上するという優れた効果を奏する。

【0038】そして、本発明に係る収納ケースは、所要大きさの第1側蓋と、該第1側蓋の一端にヒンジ部を介して折曲自在に設けられた天板と、該天板の一端にヒンジ部を介して折曲自在に設けられ且つ前記第1側蓋に臨んで施蓋する第2側蓋とを少なくとも備え、前記第1側蓋及び／又は第2側蓋には、円盤状情報記録媒体の孔部を係止する係止部を設けた収納ケースであって、前記第1側蓋又は第2側蓋には、歌詞カードやジャケット等を挟持して保持する挟持片を形成したことによって、側蓋にカード等を容易に挟持させることができるという優れた効果を奏する。

【0039】更に、本発明に係る収納ケースは、所要大きさの第1側蓋と、該第1側蓋の一端にヒンジ部を介して折曲自在に設けられた天板と、該天板の一端にヒンジ部を介して折曲自在に設けられ且つ前記第1側蓋に臨んで施蓋する第2側蓋とを少なくとも備え、前記第1側蓋及び／又は第2側蓋には、円盤状情報記録媒体の孔部を係止する係止部を設けた収納ケースであって、前記第1側蓋と第2側蓋とがそれぞれ対応する位置には、相互に係合し合う係合片と係合溝部とを形成したことによって、両方の側蓋を施蓋したときに係合片と係合溝部とが係合するので、側蓋同士がズレることなく施蓋時の収納ケースの強度が向上するという優れた効果を奏する。

【0040】また、本発明に係る収納ケースは、所要大きさの第1側蓋と、該第1側蓋の一端にヒンジ部を介して折曲自在に設けられた天板と、該天板の一端にヒンジ部を介して折曲自在に設けられ且つ前記第1側蓋に臨んで施蓋する第2側蓋とを少なくとも備え、前記第1側蓋及び／又は第2側蓋には、円盤状情報記録媒体の孔部を係止する係止部を設けた収納ケースであって、前記第1側蓋と第2側蓋とがそれぞれ対応する位置には、施蓋時に係合凹部を形成するための凹状切欠部をそれぞれ形成したことによって、ホルダーを装着してロック部材を突出させれば前記係合凹部と係合するので、両方の側蓋の施蓋状態がロックされるという優れた効果を奏する。

【0041】そして、本発明に係る収納ケースは、所要大きさの第1側蓋と、該第1側蓋の一端にヒンジ部を介して折曲自在に設けられた天板と、該天板の一端にヒンジ部を介して折曲自在に設けられ且つ前記第1側蓋に臨んで施蓋する第2側蓋と、前記第1側蓋及び／又は第2側蓋に設けると共に円盤状情報記録媒体の孔部に係止する係止部と、施蓋状態の両側蓋に装着するホルダーとを少なくとも備え、前記第1側蓋と第2側蓋とのそれぞれ対応する位置には、施蓋時に係合凹部を形成するための凹状切欠部をそれぞれ形成し、前記ホルダーには、前記

- 10 * 11 収納ケース
12 第1側蓋
13 ヒンジ部
14 天板
15 ヒンジ部
16 第2側蓋
17 係止部
18 凸条部
18a 嵌合凸部
19 凸条部
19a 嵌合凹溝
20 20 段部
21 DVD
22 突条部
23 補助板
24 挟持片
25 側板
26 側板
27 係合溝部
28 係合片
29 係合凹部
29a 凹状切欠部
30 切欠段部
31 ホルダー
32 基板
33 側面板
34 ロック機構
35 底板
36 縁板
30 37 防犯タグ
38 板バネ
39 ロック部材
39a 係合段部
39b 係合段部
39c 釦部
40 U字溝
41 係合舌片
42 受溝

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る収納ケースを開いた状態の斜視図である。

【図2】図1のA-A線断面図である。

【図3】図1のB-B線断面図である。

【図4】凸条部の嵌合凸部と嵌合溝部とを嵌合させた状態を示す断面図である。

【図5】本発明に係る収納ケースを閉じてホルダーを装着する状態を示す斜視図である。

【図6】ロック機構を示す断面図である。

【図7】ロック機構を示す底面図である。

【図8】ロック機構を示す要部斜視図である。

【図9】従来例に係るCDケースの収納容器の背面図である。

【符号の説明】

- 1 CDケースの収納容器
2 CDケース
3 開口部
4 収納容器本体
5 ロック機構
6a 係止突起
6b 係止突起
7 ロック部材

*

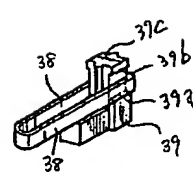
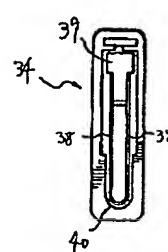
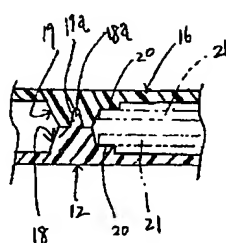
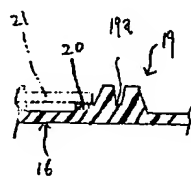
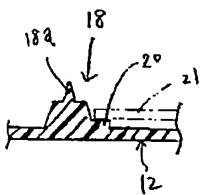
【図2】

【図3】

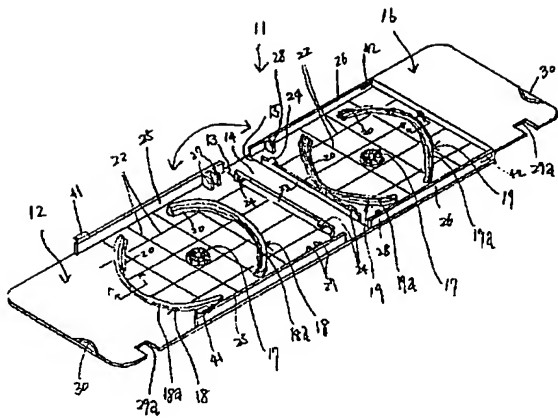
【図4】

【図7】

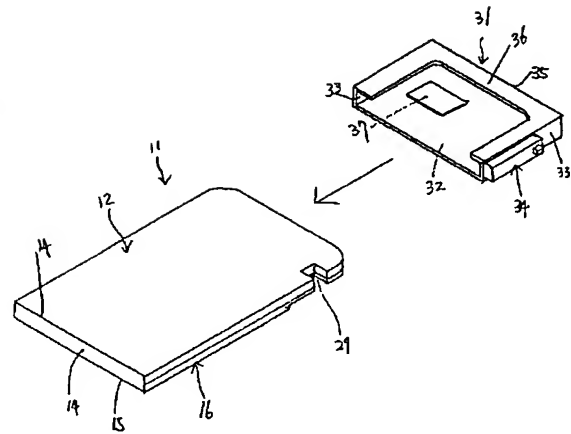
【図8】



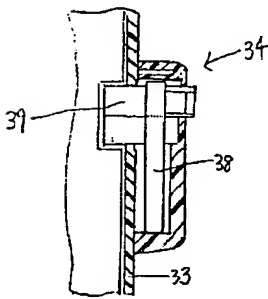
【図1】



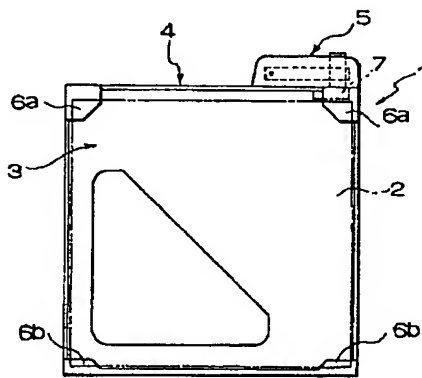
【図5】



【図6】



【図9】



【手続補正書】

【提出日】平成12年8月28日(2000. 8. 28)

*【補正対象項目名】全図

【補正方法】変更

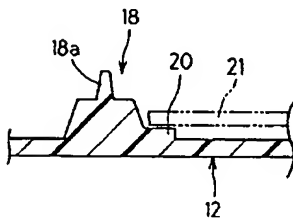
【手続補正1】

【補正内容】

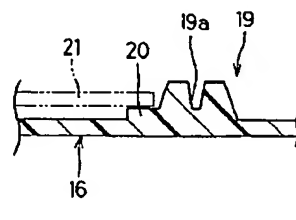
【補正対象書類名】図面

*

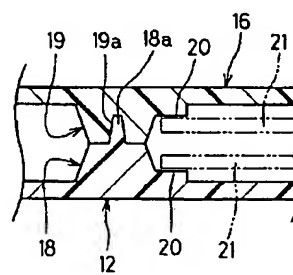
【図2】



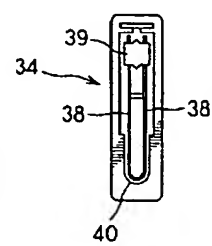
【図3】



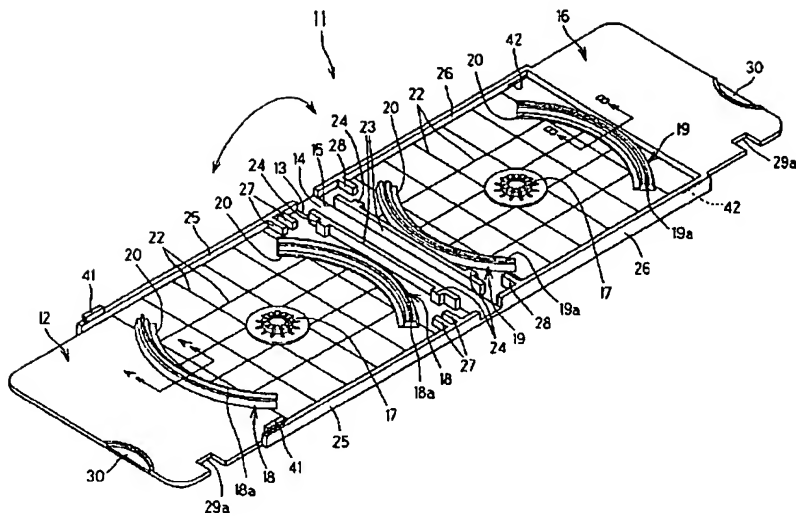
【図4】



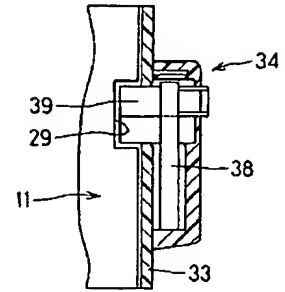
【図7】



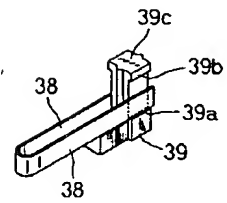
【図1】



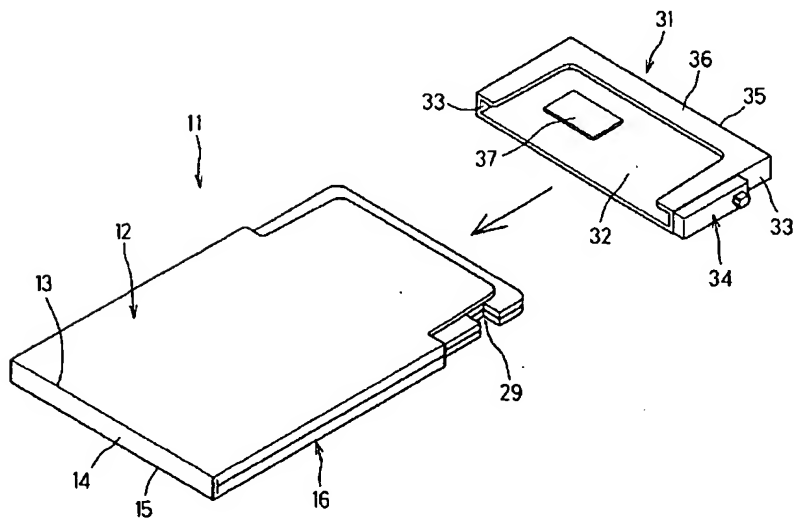
【図6】



【図8】



【図5】



【図9】

